

## 国立駅周辺まちづくり会議 検討部会の設置（案）

### 1. 検討部会の構成

- ・ 検討部会及び検討部会長は、会長が指名する者をもって充てる。（国立駅周辺まちづくり会議設置要綱 第七条）
- ・ 検討部会のテーマ、メンバー等は必要に応じて決定する。

#### 【検討部会メンバー(案)】

学識経験者

公募市民

国立市商工会

商店会(旭通り商店会、北口駅前商店会、国立駅前大学通り商店会、国立一番街商店会など)

自治会等(南北口駅前のマンション組合、北町会など)

市民団体(くにたち・まちづくり∞自転車倶楽部、赤い三角屋根の会、地域自給くにたちなど)

交通事業者(バス事業者、タクシー事業者)

国立市職員(建設課、建設課交通担当、産業振興課、市民協働推進課)など

### 2. スケジュールと検討内容（案）

- ・平成 23 年度末までに7回程度の開催を予定する。

表 検討部会の開催スケジュール(案)

	検討内容(案)	備考
H22年 8月		第1回 国立駅周辺 まちづくり会議
9月	<b>【第1回】</b> ○検討部会の位置付け、進め方 ○自転車を活用した現地視察(サイクルツアー)の検討 ○旧駅舎・駅前広場の活用に関するニーズの把握	
10月	<b>【第2回】</b> ○ツーリング・グリーンマップ(*)案の検討、作成 <small>(*)自転車・バスの経路、地域資源を記載したマップ</small> ○旧駅舎・駅前広場の活用に向けた課題の整理	
11月	<b>【第1回まちづくりシンポジウム】(11月28日)</b> ○これまでの検討内容(資源マップ作成状況)の報告	第2回 国立駅周辺 まちづくり会議
12月		

1月	<p><b>【第3回】</b> ○社会実験の内容検討・その1</p>	
2月		
3月		とりまとめ(中間報告)
4月	<p><b>【第4回】交通</b> ○社会実験の検討・その2 ・自転車利用に関する社会実験</p> <p><b>【第4回】まち育て・景観</b> ○社会実験の検討・その2 ・駅前広場の活用(賑わいづくり)に関する社会実験</p>	
5月		第3回 国立駅周辺まちづくり会議
6月	※社会実験申請書類等の作成・提出	
7月	※社会実験の選定結果	
8月	<p><b>【第5回】</b> ○社会実験の実施に向けた関係者との調整・実施手順の確認</p> <p><b>【第5回】</b> ○社会実験の実施に向けた関係者との調整・実施手順の確認</p>	第4回 国立駅周辺まちづくり会議
9月		
10月	<p><b>【第6回】</b> ○社会実験の実施</p> <p><b>【第6回】</b> ○社会実験の実施</p>	
11月	<p><b>【第2回まちづくりシンポジウム】</b> ○社会実験の結果(概要)報告</p>	第5回 国立駅周辺まちづくり会議
12月		
1月	<p><b>【第7回】</b> ○社会実験のまとめ ○駅前広場等の設計修正案の提示</p> <p><b>【第7回】</b> ○社会実験のまとめ ○駅前広場等の設計修正案の提示 ○マネジメント組織の立ち上げに向けた提案</p>	
2月		第6回 国立駅周辺まちづくり会議
3月	基本設計案とりまとめ	

### 3. 検討内容（案）

#### 1) 交通に関する検討（案）

##### 例 A. 駅周辺自動車交通体系の検討

- 南北駅前広場や、都市計画道路 3・4・10 号線、西 1 条線の整備などによる、駅周辺の交通状況の変化を検討・検証する。
- 東 1 号線や北 1 号線などの通りのモール化（一般車交通の制限）や、駅周辺における一方通行の見直しなどの適切な交通体系の検討を行う。
- 高齢者、学生、商業関係者など、地域住民の方々とともに考え、より安全・快適な駅周辺交通のあり方を検討する。

##### 例 B. 駅周辺を起点とした国立市全域の交流のしくみづくり ～自転車や徒歩によるネットワークの検討

- 豊かな自然や歴史資産といった魅力をもつ南部地域と、国立の玄関口である国立駅周辺地区を連携し、市域全体の交流・回遊機能を高めるような仕組みづくりと活動
    - ・来訪者が南部の自然を含めた国立をまるごと楽しめる仕組みづくり
    - ・南北の地域交流を高め、地域全体の活性化につながる持続的な市民活動を生む～地域資産をつなぐツouring・グリーンマップの作成や、駐輪場とカフェが一体となった移動式モビリティ・カフェなど、まちを楽しくする活動を考える。
  - 「サイクルシェアリング」（自転車共同利用）の検討（※次頁参照）
    - ・地域住民や来訪者の外出機会や行動範囲が広がり、市内交流を活性化する。
    - ・効率的なサイクルシェアリングの実現により、自転車の必要台数を減らし、市域の放置自転車の減少が可能となる。
    - ・自転車と公共交通との組み合わせにより、自動車利用の抑制と公共交通利用の促進をすることで、環境負荷の低減を図る。
  - 「市域交流の拠点」としての国立駅周辺整備のあり方を検討
    - ・ネットワークのターミナルとして、案内機能やサイクルポートなどの設置を検討
    - ・歩行者、自転車の駅周辺動線ネットワークを反映
- 参考事例) 札幌市・自転車共同利用サービス実験 「ポロクル」

【概要】

- 場所：札幌市都心部
- 期間：2010年6月～9月
- 貸出拠点：15箇所(200ラック)
- 自転車：100台
- 利用者数：2,500名程度

【実験の狙い】

- 自動車からの転換・
  - 新たな駅アクセス交通の提供による自動車からの転換とCO2削減
  - 公共交通とコミュニティサイクルの連携による公共交通の利用促進
- 駐輪場問題の解消
  - コミュニティサイクルの効率的な利用で駐輪場必要台数を減らす
  - 放置自転車を減少させ、都市景観の改善を図る
- 地域の活性化
  - 新しい交通モードの提供により、人の周遊性を高める
  - 商業施設などと連携し、活性化を促す

サイクルポートのイメージ



# POROCLE ポロクル 2010

## 「サイクルシェアリング実証実験」

サイクルシェアリング実証実験は、Doconとdocomoの共同実験です  
後援：北海道モビリティデザイン研究会

**ポロクル**は  
北海道ではじめての  
自転車共同利用サービス

30分以内の  
ポート間の利用であれば  
何回でも使える  
みんなの自転車

少し遠かったあの場所が  
グッと身近に

札幌都心部でサービス提供中！

# 利用者募集中

※要登録

START 6/1 ~ 9/30

登録方法



料金プラン

利用タイプ	基本料金	利用料金 (超過分)
1ヶ月タイプ	500円/月	100円/30分 (上限1日2000円)
1日タイプ	200円/日	(上限1日2000円)
1回タイプ	-	50円/30分 (上限1日2000円)

※登録手数料(利用開始月のみ)200円がかかります。  
※ご利用料金はクレジットカードでの決済となります。  
※利用タイプは月毎に設定できます。  
※ポロクルの料金は、みなさんでたくさん使ってもらえるように、30分以内の利用がお得になっています。

ポロクルポートマップ

お問合せは  
ポロクルカウンターへ

日曜日はお休みを  
いたしております。

詳しくは...  
ポロクル2010 検索

## 2) まち育てに関する検討(案)

### □目的

まち育て部会は、復原される旧駅舎と整備される駅前広場を、  
国立市民自らが

- 自分たちの生活の中で、どのように使うのか(使い方、活動)
  - それを実現するにはどのような仕組みが必要なのか(ルール、システム)
- について、考える場とする。

※市民自らが、国立の美しさ、楽しさ、やさしさ、快適さなど国立市の新たな魅力を作り出し、それを駅周辺でデザイン⇨魅力を表に現し、伝えることが重要である。

### □検討内容

#### 1)旧駅舎・駅前広場の活用に向けたモデル検討

- ①旧駅舎・駅前広場の使い方に関するニーズの把握
- ②旧駅舎・駅前広場の活用に向けた条件整理
- ③国立市におけるコミュニティ活動の実態把握
- ④旧駅舎・駅前広場活用の枠組み検討(モデル構築)

#### 2)社会実験による検証

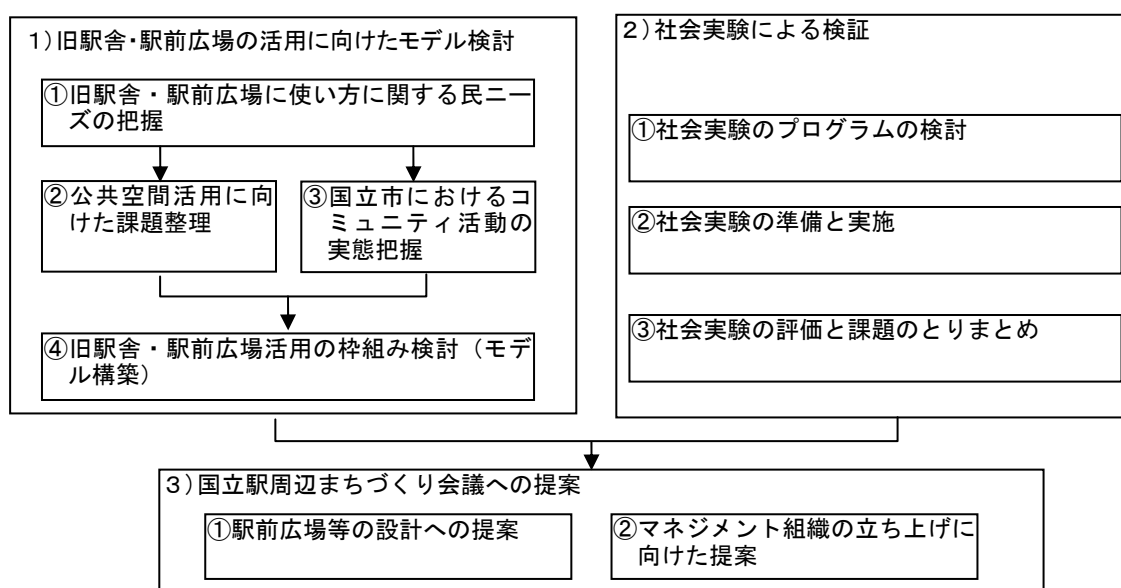
- ①社会実験のプログラムの検討
- ②社会実験の準備と実施
- ③社会実験の評価と課題のとりまとめ

#### 3)国立駅周辺まちづくり会議への提案

- ①駅前広場等の設計への提案
- ②マネジメント組織の立ち上げに向けた提案

※検討期間としては、平成22年8月～平成23年度までを目安とする。

図 検討フロー



[参考事例]

鎌ヶ谷駅東口における NPO 法人 KAO の会による駅前広場の維持管理、各種イベントの開催

- ・「KAOの会」は千葉県鎌ヶ谷市、鎌ヶ谷駅東口駅前を一体的な都市空間として整備し維持管理することを目的に、駅前の共同ビルを開発した地権者等が中心となり設立された NPO 法人である。
- ・駅を核としたまちづくりを提唱し、共同ビル・駐車場管理、駅前広場維持管理、各種イベントの開催などを行っている。
- ・「KAOの会」が構成員（法人）が所有する共同ビルの管理運営を受託することで、入居者が負担する管理費が会の活動費となる仕組みを構築し、活動費を確保。
- ・さらに、鎌ヶ谷市から駅前広場の管理を受託することにより、収入の確保だけでなく、共同ビルと駅前広場の一元管理を実現している。
- ・なお、鎌ヶ谷駅東口地区では、グレードアップ整備を官民を交えた「まちづくり懇談会」で検討し、空間整備指針を作成。広場周辺の民間ビルにも公共空間の整備イメージを取り入れた広場と一体となった街並みを形成を実現している。
- ・この NPO 法人「KAOの会」はこの「まちづくり懇談会」を前身としており、駅前広場周辺の空間について、計画づくりから維持管理まで連続的な取り組みが実現している。

主体名称	KAO の会
組織形態	特定非営利活動法人（NPO 法人）
組織設立	平成 12 年 11 月
活動目的	様々なまちづくりに関する事業を行い、住民主体の「親しみやすいまちづくり」をめざし、真に豊かな地域社会の実現を図る
活動内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>・各種イベントの開催（駅前空間を中心としたまちなかの賑わい創出事業）</li> <li>・まちづくり講演会セミナーへの講師・パネラーとしての参加（ボランティア団体等への助言・援助及び会の広報活動の一環として）</li> <li>・駅前広場維持管理業務（清掃・植栽管理・違法駐輪対策：行政からの受託事業）</li> <li>・ビル及び駐車場管理事業（会の基本的運営資金確保の為の収益事業として）</li> </ul>
組織構成	12 名
収入	<ul style="list-style-type: none"> <li>・駅前マンション居住者からの「景観維持費」（1戸あたり数百円／月）</li> <li>・駅前広場の管理業務の受託によるもの（植栽管理・歩道清掃）</li> <li>・土地建物の管理・運営事業によるもの</li> </ul>

「持続的まちづくりのための『まちの運営』のあり方について」（平成 18 年、都市づくりパブリックデザインセンター）他をもとに作成。